

2024年度臨時審査では、  
2025と入力する。

別紙7

別紙様式2

連合農学研究科教員候補者個人調書

申請年度（西暦）	2025			
ふりがな	やまだ たろう	所属大学・学部・学科・講座等		職名
氏名	山田 太郎	岩手大学 農学部 農林生産学科 作物生産学講座		教授
英語表記	YAMADA, Taro			
生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日生	〇〇歳	個人番号 (8桁)	〇〇〇〇〇〇〇〇
メールアドレス	〇〇@〇〇.jp			

連合農学研究科教員となった場合の専攻、連合講座等

専攻	生物生産科学	連合講座	植物生産学	教育研究分野 (英語表記)	植物園芸学 (Horticulture)
教育研究分野の内容 (英語表記)	病害抵抗性育種に関する理論と応用 (Theoretical and applied studies on plant breeding for disease resistance)				

学歴

年月	事項
平成〇年〇月	〇〇大学農学部農学科 入学
平成〇年〇月	〇〇大学農学部農学科 卒業
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科修士課程（農学専攻） 入学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科修士課程 修了（農学修士）
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科博士課程（農学専攻） 進学
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科博士課程 修了（又は単位取得退学など）

学位

年月	学位の種類	取得大学名	学位論文の題名
平成〇年〇月	博士（農学）	〇〇大学	.....に関する研究

職歴

年月	事項
平成〇年〇月	〇〇大学 助手 農学部
平成〇年〇月	〇〇大学 助教授 農学部
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科担当（修士課程）
平成〇年〇月	△△国△△大学留学（平成〇年〇月まで）
平成〇年〇月	〇〇大学 教授 農学部（就任予定） （※ 年代順に記載する。）

学会賞受賞論文等

年月	事項
平成〇年〇月	〇〇賞（日本〇〇学会学会賞）受賞「〇〇に関する研究」 （※ 該当がない場合は「なし」と記載する。）

# 教 育 研 究 業 績 書

氏名：山田 太郎 NO.1

<p><b>1. 学術論文</b></p> <p>1) 山田二郎, <u>山田太郎</u> 2000年 責任著者  <i>Paulownia tomentosa</i>に関する研究          ○○学会誌, ○巻: 123-130</p> <p>2) <u>YAMADA, T.</u>, YAMADA, J. 2000年          Students on the . . . . .          Journal of Japanese . . . . . Sciences, Vol. ○ : 123-130</p> <p>3) <u>YAMADA, T.</u>, RENDAI, J. 2000年          Setudents on the . . . . .          Journal of . . . . . Sciences, Vol. ○ : 123-130</p> <p><b>2. 著書</b></p> <p>1) <u>山田 太郎</u> 2000年          . . . . .の基礎          ○○堂, 130頁, ISBN: 1234567890</p> <p>2) <u>山田 太郎</u> 2000年          . . . . .について          高橋二郎編: . . . . .に関する研究 ○○書院          第3章 111-132 ISBN: 1234567890</p> <p><b>3. 総説</b></p> <p>1) <u>山田太郎</u> 2000年          . . . . .の展望          ○○誌, ○巻, 35-38</p> <p><b>4. 特筆すべき業績</b> (学会賞受賞論文等)</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             原著論文のうち、レフリー              制度のある国際誌または国内              学術雑誌で、申請者が筆頭著              者ではないが責任著者である              場合は、ここに明記する。         </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">             学名はイタリックで記載する。              (Word 出力後に変換する。)         </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">             すべての業績について、申請者の氏              名にはアンダーラインをつける。         </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">             ISBN-又は ISSN を記入する         </div>
---	---

業 績 概 要		
1. 原著論文	編 (うち最近5年 編)	筆頭著者・責任著者 編 (うち最近5年 編)
2. 著書	編 (うち最近5年 編)	—
3. 総説	編 (うち最近5年 編)	—
原著論文+著書+総説	編 (うち最近5年 編)	筆頭著者・責任著者 編 (うち最近5年 編)

判定	合否判定
主指導教員	○ か ×
副指導教員	○ か ×

- 注 1) 申請にあたっては、できる限り研究業績を厳選し、申請者が基準を満たすために十分と考えられる業績数を記載すること (50件まで入力可能)。
- 2) 通し番号、著者 (共著者含め)、発表年、論文題目、掲載誌、巻 (号) ページ、ISBN (ISSN) の順に記載し、本人の氏名に必ずアンダーラインを付すこと。
- 3) 申請者が筆頭著者ではないが責任著者である国際誌または国内誌のレフリー付き論文については、その旨を業績一覧に明記すること。
- 4) 枚数は制限しないが、最後のページに「業績概要」を記載すること。
- 5) 「業績概要」中の学術論文の編数に博士論文を加えないこと。
- 6) 学会の講演要旨、科学研究費補助金報告書は学術論文に記載しないこと。